

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ジャッカル・オニクス</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.470</b>	△RG <b>0.054</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ジャッカル・オニクス**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番

**比較対照ボール：クリムゾン・ジャッカル**

フレアーの幅  インチ

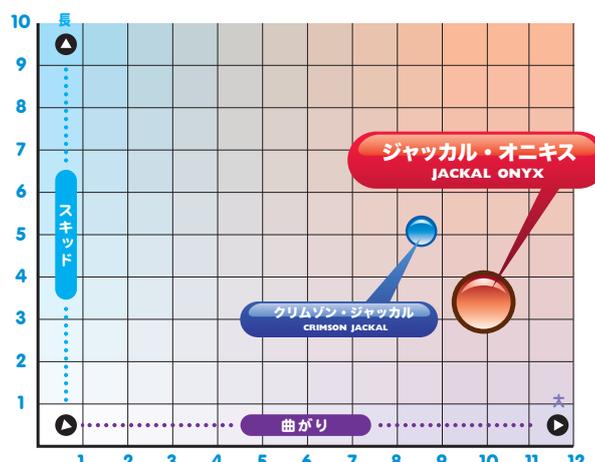
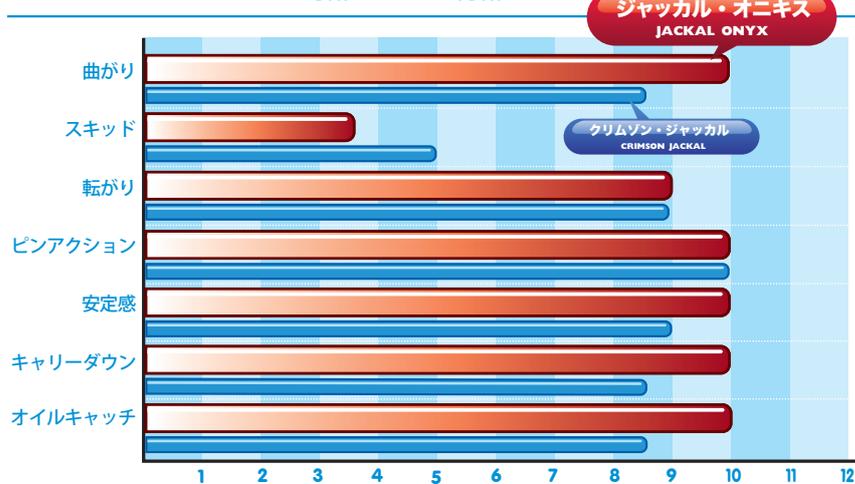
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

ジャッカルシリーズはMOTIV社で最も人気の高いシリーズで、ユーザーの多くがヘビーオイル用のボールという認識であり、MOTIV社もまたその分野でのナンバーワンを意識して研究開発を進めています。

現在、MOTIV社で積極的に開発が進められている技術は、「表面の保持」と言っても良いでしょう。「デュラマックス・テクノロジー」として、ハイパフォーマンスボールの課題ともいえる曇り具合や表面の凹凸の維持をコントロールし、数ゲーム後でも1投目と同じ性能を発揮する、所謂パフォーマンスを安定させ高い曲がりを持続維持させる分野に取り組んでいます。

表面の状態の変化が激しいほど曲がり具合の変化もしやすいため、ヘビーオイル向けのボールには特にこの項目は重要です。この項目に向き合い研究に取り組むのは、まさにボウラーのためのボウラー目線の研究に他なりません。

このJACKAL ONYXは、ボウラーのためにヘビーオイル用で「曲がること」を前提に、「キャッチの耐久性」や「表面の安定化」、そしてすべてを備えた上で強力なグリップ力を得たと言っても良いでしょう。

JACKAL ONYXに採用されているLeverage HXCソリッドカバーストックは、SUBZERO FORGEのLeverage MXCを進化させ、グリップ力とフックポテンシャルをさらに向上させています。そのキャッチと曲がりの大きさは、バックエンドのパワーを犠牲にすることなく、さらに質の高いレベルのトラクションを発揮しています。ヘビーオイル用のスペックですので、オイルが薄いコンディションには不向きですが、オイルが多いコンディションでは他のヘビーオイル用よりもトラクションがあり、曲がりが見られるでしょう。

### 特記事項

**SUBZERO FORGEを進化させ、キャッチとバックエンドの動き双方を兼ね備えました。デュラマックス・テクノロジーで耐久性までを得たJACKAL ONYXに死角はありません。**